

『岸 直枝伝』の発刊に寄せて

野間顕彰会 会長

竹 田 賢 一



ボーイスカウト運動の創始者は、英国人のロバート・ベーデン・パウエルですが、夫人のオレブ・ベーデン・パウエルが、少女のためにガールスカウトを興しました。

桐生では岸直枝先生が戦後間もない昭和二十四年に、ガールスカウトの組織を立ち上げ、初代連合団委員長となり、その後は昭和五十四年にガールスカウト日本連盟会長になって活躍したことは、あまりにも有名です。

私もボーイスカウトの指導者として、前橋市にある財団法人群馬県青少年会館で、ボーイスカウト群馬県連盟の事務局長を十年間務めていたとき、ガールスカウト県支部が隣の部屋だった関係から、岸先生とは時々お会いして声をかけていただいたのが昨日の事のようによみがえります。

先生の言葉には無駄な発言が無く、そのまま活字にしてもおかしくなくらい正確で、その口調には、ときには男勝りにも聞こえるが、別れるときには「お体を大切に」と医者らしい優しい言葉もかけてもらいました。

先生が「社会福祉法人桐の実会わたらせ養護園」を開設されたとき、ガールスカウト日本連盟総主事だった盟友清水俊衣先生を施設長に招き、そのコンビで見事に運営し成功されたのは、ガールスカウトの基本である奉仕の精神であり、今も学齢前障害児の施設は継承され、三角屋根の養護園は岸先生の残された偉大な証であります。

野間清治顕彰会では「桐生市小学校」が編集兼発行人となって、「愛郷心の育成と将来ふるさと桐生発展の為人材育成」を目指して、大正二年から昭和十七年までに発刊した「郷土の華」が全生徒に無料で配布され、多くの感動を与えたのに習い、「ふるさと」の風シリーズ「第六集」では女性を取り上げて頂き、先人の足跡を学びたいとおもいます。